

# 消 防 年 報

令 和 2 年 版

湯 浅 広 川 消 防 組 合

# はじめに

この消防年報は、湯浅広川消防組合の消防現勢と過去5年間の消防業務の実績、統計等を収録し、今後の施策の参考にするとともに、広く一般に消防行政の現況をご理解いただき、一層のご指導とご協力を願うため編集したものです。

当消防本部は、和歌山県の湯浅町、広川町の2つの町を管轄としています。

## 湯浅広川消防組合消防本部

湯浅町は、和歌山県の中央からやや北部に位置し、西は紀伊水道に面して、海と山に囲まれた町で、醤油醸造町としては全国初となる「重要伝統的建造物保存地区」を有しています。平成29年4月28日には、醤油醸造の発祥の地紀州湯浅として醤油醸造文化のストーリーが日本遺産に認定されました。

16世紀末期頃に開発されたとされる北町、鍛冶町、中町、濱町を中心とする醤油醸造業が最も盛んであった地区が、平成18年に保存地区として指定されました。

保存地区は、伝統的な木造住宅、土蔵が多く海からも近いことから住民の防災意識が高く、当地区から湯浅町初となる自主防災組織が結成されました。現在では初期消火訓練、津波避難訓練等を計画的に実施し、他の自主防災組織の模範となりながら、防災活動に取り組んでいます。

また、湯浅町の深専寺には、安政元年(1854年の南海地震で起こった津波の概要を記した記碑が建てられています。(和歌山県指定文化財)



重要伝統的建造物保存地区写真



大地震津波心得の記碑



この写真は広川町庁舎前に建てられている浜口梧陵翁の銅像です。

広川町が生んだ偉大な先覚者・浜口梧陵翁の業績を称え、明治30年小泉八雲(ラフカディオ・ハーン)により「生ける神」なる物語として全世界に紹介され、昭和12年には文部省発行、小学校国語読本巻十(5年生用)に「稲むらの火」として紹介されていました。

2018年5月、広川町の防災遺産「百世の安堵」が日本遺産に認定されました。「百世の安堵」という名称は、安政元年の津波被害から多くの人々を救った濱口梧陵の言葉「築堤の工を起して住民百世の安堵を図る」から付けられたものです。安政の津波が起きた11月5日は2015年、国連により「世界津波の日」と定められました。

## 稲むらの火

「これはただ事ではない。」とつぶやきながら、五兵衛は家から出てきた。

-----『稲むらの火』より抜粋-----

安政元年(1854年)に広村(現在の広川町)を襲った大津波。

浜口梧陵は被災した人々のために敢然と立ち上がりました。彼の活躍ぶりを描いた「稲むらの火」からは当時の緊迫感がひしひしと伝わってきます。

梧陵は広村で分家浜口七右衛門の長男として生まれ、12歳の時に本家の養子として銚子(現在の千葉県)に移り家業であるヤマサ醤油の事業を継ぎました。

たまたま彼が広村に帰郷していたとき、突如大地震が発生し、紀伊半島一帯を大津波が襲いました。彼は、稲むら(ススキや稲束を積み重ねたもの)に火を放ち、この火を目印に村人を誘導して、彼らを安全な場所に避難させました。しかし津波により村には大きな爪あとが残りました。

このかわり果てた光景を目にした梧陵は、故郷の復興のために身を粉にして働き、被災者用の小屋の建設、農機具・漁業道具の配給をはじめ各方面において復旧作業にあたりました。また、津波から村を守るべく長さ650m余り、高さ約5mの防波堤の築造にも取り組み、後の津波による被害を最小限に抑えました。

国政にも様々な活躍をしその功績をたたえる碑が広川町内の各地に建立されています。

広川町では平成15年から「稲むらの火祭り」と称して、広川町役場前から広八幡神社まで参加者らが各自「たいまつ」を持って行進し、「自分の田の稲むらに火を放ち、村人の避難を呼びかけ押し寄せてくる津波から住民を救った」という浜口梧陵の偉功を後世に伝える行事を毎年開催しております。

現在、梧陵の精神は、地域住民及び湯浅広川消防組合の防災の精神的支柱として受け継がれています。



浜口梧陵翁の肖像



現在の堤防(梧陵堤)



「稲むらの火祭りから」

管内位置図	1
構成町の紹介	2
歴代役職員名	3～5
消防の沿革	6～14
総務 組合の機構、消防庁舎の現況、管内面積、人口及び世帯数	15
消防予算・職員の階級別勤続年数・職員の階級別年齢状況	16
消防本部職員配置表・消防署職員配置表	17
消防職員の資格取得状況	18
予防 防火対象物の現況・消防用設備設置件数	19
予防関係届出処理状況・広報実施状況・訓練指導状況	20
建築確認同意事務処理状況・建築確認同意事務町別状況・建築確認用途別申請内訳	21
危険物施設数・危険物規制許認可事務処理状況・危険物関係申請、届出受理状況	22
立入検査等実施状況・防火対象物定期点検及び特例認定状況	23
防火管理の状況・防火管理者資格講習会実施状況	24
警防 消防通信系統図・無線電話保有状況・有線電話等保有状況	25
消防相互応援協定・消防水利の現況	26
主力機関の紹介	27
火災 火災発生の推移・町別火災種別状況	28
火災の概況・火災覚知別表	29
曜日別火災状況・出火時刻別火災状況	30
月別火災状況・出火原因別火災状況	31
気象別火災状況	32
その他の出場状況	33
救急 救急出場の推移・事故別発生状況	34
時間別出場状況・高度救命処置件数	35
程度別搬送状況・病院照会件数	36
救急資器材一覧表	37
救助 救助出場の推移・月別救助出場状況	38
救助資器材一覧表	39

# 管内位置図



## 構成町の紹介



湯浅町役場



広川町役場

湯浅広川消防組合を構成する湯浅、広川の両町は、紀中有田郡の南端に位置し、白馬山脈から湯浅広港へ注ぐ清流広川を挟んで形成され、共に長い歴史と伝統に育かれた文化と自然豊かな町です。

# 歴代役員名

## 歴代管理者

歴代	氏名	在職期間	附記
初代	寺西 清	昭和57年4月1日～昭和59年3月31日	湯浅町長
2代	石原 久男	昭和59年4月1日～昭和61年3月31日	広川町長
3代	寺西 清	昭和61年4月1日～昭和63年3月31日	湯浅町長
4代	石原 久男	昭和63年4月1日～平成2年3月31日	広川町長
5代	寺西 清	平成2年4月1日～平成4年3月31日	湯浅町長
6代	石原 久男	平成4年4月1日～平成6年3月31日	広川町長
7代	寺西 清	平成6年4月1日～平成6年11月27日	湯浅町長
8代	妻木 尚武	平成6年12月5日～平成8年3月31日	湯浅町長
9代	石原 久男	平成8年4月1日～平成10年3月31日	広川町長
10代	妻木 尚武	平成10年4月1日～平成12年3月31日	湯浅町長
11代	石原 久男	平成12年4月1日～平成14年3月31日	広川町長
12代	妻木 尚武	平成14年4月1日～平成16年3月31日	湯浅町長
13代	石原 久男	平成16年4月1日～平成17年9月24日	広川町長
14代	白倉 充	平成17年10月6日～平成18年3月31日	広川町長
15代	伏木 健	平成18年4月1日～平成20年3月31日	湯浅町長
16代	白倉 充	平成20年4月1日～平成22年3月31日	広川町長
17代	上山 章善	平成22年4月1日～平成24年3月31日	湯浅町長
18代	白倉 充	平成24年4月1日～平成25年9月24日	広川町長
19代	西岡 利記	平成25年10月22日～平成26年3月31日	広川町長
20代	上山 章善	平成26年4月1日～平成28年3月31日	湯浅町長
21代	西岡 利記	平成28年4月1日～平成30年3月31日	広川町長
22代	上山 章善	平成30年4月1日～令和2年3月31日	湯浅町長
23代	西岡 利記	令和2年4月1日～現在	広川町長

## 歴代副管理者

歴代	氏名	在職期間	附記
初代	石原 久男	昭和57年4月1日～昭和59年3月31日	広川町長
2代	寺西 清	昭和59年4月1日～昭和61年3月31日	湯浅町長
3代	石原 久男	昭和61年4月1日～昭和63年3月31日	広川町長
4代	寺西 清	昭和63年4月1日～平成2年3月31日	湯浅町長
5代	石原 久男	平成2年4月1日～平成4年3月31日	広川町長
6代	寺西 清	平成4年4月1日～平成6年3月31日	湯浅町長
7代	石原 久男	平成6年4月1日～平成8年3月31日	広川町長
8代	妻木 尚武	平成8年4月1日～平成10年3月31日	湯浅町長
9代	石原 久男	平成10年4月1日～平成12年3月31日	広川町長
10代	妻木 尚武	平成12年4月1日～平成14年3月31日	湯浅町長
11代	石原 久男	平成14年4月1日～平成16年3月31日	広川町長
12代	妻木 尚武	平成16年4月1日～平成16年8月30日	湯浅町長
13代	伏木 健	平成16年11月30日～平成18年3月31日	湯浅町長
14代	白倉 充	平成18年4月1日～平成20年3月31日	広川町長
15代	伏木 健	平成20年4月1日～平成20年9月18日	湯浅町長
16代	上山 章善	平成20年9月19日～平成22年3月31日	湯浅町長
17代	白倉 充	平成22年4月1日～平成24年3月31日	広川町長
18代	上山 章善	平成24年4月1日～平成26年3月31日	湯浅町長
19代	西岡 利記	平成26年4月1日～平成28年3月31日	広川町長
20代	上山 章善	平成28年4月1日～平成30年3月31日	湯浅町長
21代	西岡 利記	平成30年4月1日～令和2年3月31日	広川町長
22代	上山 章善	平成2年4月1日～現在	湯浅町長

## 歴代議長

歴代	氏名	在職期間	附記
初代	山口 政次	昭和57年4月1日～昭和58年11月9日	広川町議会議員
2代	林 芳楠	昭和58年11月10日～昭和62年8月4日	広川町議会議員
3代	木村 雅宥	昭和62年8月5日～平成3年12月4日	湯浅町議会議員
4代	中山 美輝夫	平成3年12月5日～平成6年3月3日	広川町議会議員
5代	木村 雅宥	平成6年3月4日～平成7年7月11日	湯浅町議会議員
6代	田中 修	平成7年7月12日～平成10年3月1日	広川町議会議員
7代	山下 邦弘	平成10年3月2日～平成12年2月29日	広川町議会議員
8代	山崎 幸雄	平成12年3月1日～平成14年3月5日	湯浅町議会議員
9代	畑中 秀敏	平成14年3月6日～平成15年9月25日	広川町議会議員
10代	北山 敏一	平成15年10月27日～平成16年3月2日	広川町議会議員
11代	山下 昌雄	平成16年3月3日～平成18年3月6日	湯浅町議会議員
12代	北山 敏一	平成18年3月7日～平成19年9月25日	広川町議会議員
13代	田中 修	平成19年10月31日～平成20年3月3日	広川町議会議員
14代	松本 典久	平成20年3月4日～平成22年3月9日	湯浅町議会議員
15代	檜原 淳奈	平成22年3月10日～平成24年2月28日	広川町議会議員
16代	松本 典久	平成24年2月29日～平成25年6月10日	湯浅町議会議員
17代	丸山 良章	平成25年6月25日～平成26年3月9日	湯浅町議会議員
18代	田中 修	平成26年3月10日～平成28年3月2日	広川町議会議員
19代	石橋 千歌子	平成28年3月3日～平成30年3月1日	湯浅町議会議員
20代	堀川 秀幸	平成30年3月2日～令和2年3月3日	広川町議会議員
21代	由良 祥治	平成2年3月4日～現在	湯浅町議会議員

## 歴代副議長

歴代	氏名	在職期間	附記
初代	亀井 信次	昭和57年4月1日～昭和58年7月31日	湯浅町議会議員
2代	畑上 兼男	昭和58年8月1日～昭和62年8月4日	湯浅町議会議員
3代	大西 三郎	昭和62年8月5日～平成元年10月15日	広川町議会議員
4代	松林 洋行	平成元年10月16日～平成3年12月4日	広川町議会議員
5代	田中 修	平成3年12月5日～平成7年7月11日	広川町議会議員
6代	成田 浩一	平成7年7月12日～平成9年6月17日	湯浅町議会議員
7代	山崎 幸雄	平成9年12月5日～平成12年2月29日	湯浅町議会議員
8代	田中 修	平成12年3月1日～平成14年3月5日	広川町議会議員
9代	山下 昌雄	平成14年3月6日～平成16年3月2日	湯浅町議会議員
10代	沖 久雄	平成16年3月3日～平成18年3月6日	広川町議会議員
11代	松本 典久	平成18年3月7日～平成19年3月3日	湯浅町議会議員
12代	檜原 淳奈	平成19年3月4日～平成22年3月9日	広川町議会議員
13代	横矢 政明	平成22年3月10日～平成23年4月1日	湯浅町議会議員
14代	松本 典久	平成23年4月2日～平成24年2月28日	湯浅町議会議員
15代	岡崎 幸範	平成24年2月29日～平成26年3月9日	広川町議会議員
16代	小松 英夫	平成26年3月10日～平成27年10月28日	湯浅町議会議員
17代	石橋 千歌子	平成27年10月29日～平成28年3月2日	湯浅町議会議員
18代	梶原 和昌	平成28年3月3日～平成30年3月1日	広川町議会議員
19代	石橋 千歌子	平成30年3月2日～令和元年6月5日	湯浅町議会議員
20代	由良 祥治	令和元年6月6日～令和2年3月3日	湯浅町議会議員
21代	檜原 淳奈	令和2年3月4日～現在	広川町議会議員



### 歴代消防長

歴代	氏名	在職期間	附記
初代	井角 武雄	昭和57年9月17日～昭和59年1月22日	
2代	岡田 敏男	昭和59年1月23日～昭和60年7月11日	
3代	中 盾夫	昭和60年7月12日～平成5年3月31日	
4代	竹内 久	平成5年4月1日～平成7年1月8日	
5代	須井 義和	平成7年1月9日～平成8年3月31日	
6代	山崎 哲男	平成8年4月1日～平成11年6月30日	
7代	山家 修	平成11年7月1日～平成11年11月17日	
8代	上山 章善	平成11年11月18日～平成12年3月31日	消防長事務取扱 (湯浅町助役)
9代	白倉 充	平成12年4月1日～平成14年3月31日	消防長事務取扱 (広川町助役)
10代	寺西 義次	平成14年4月1日～平成15年7月14日	
11代	黒川 博務	平成15年7月15日～平成16年12月31日	
12代	三橋 雄作	平成17年1月1日～平成20年3月31日	
13代	辻岡 尚男	平成20年4月1日～平成29年3月31日	
14代	大西 和彦	平成29年4月1日～平成30年3月31日	
15代	上田 哲也	平成30年4月1日～平成31年3月31日	
16代	牛居 初穂	平成31年4月1日～現在	

### 歴代署長

歴代	氏名	在職期間	附記
初代	大西 辰次	昭和57年4月1日～平成19年3月31日	
2代	辻岡 尚男	平成19年4月1日～平成20年3月31日	
3代	大西 和彦	平成20年4月1日～平成29年3月31日	
4代	上田 哲也	平成29年4月1日～平成30年3月31日	
5代	牛居 初穂	平成30年4月1日～平成31年3月31日	
6代	須佐見 敏夫	平成31年4月1日～現在	

- 昭和57年 2月 湯浅広川消防組合設立県知事許可  
4月 湯浅広川消防組合設立  
管理者に 湯浅町長 寺西 清氏 就任  
新規職員17名採用し県消防学校初任教育に入校  
湯浅町より2名、広川町より2名職員派遣  
大西 辰次(署長心得)消防大学校に入校(広川町から派遣)  
7月 ホンダスーパーカブ70CC購入  
8月 湯浅町消防団事務所を消防本部消防署に改築  
9月 初代消防長に 井角 武雄 就任(湯浅町から派遣)  
県消防学校初任教育17名修了  
大西 辰次消防大学校卒業  
10月 湯浅広川消防組合消防本部消防署業務開始(総員22名)  
ポンプ車、積載車、救急車、各1台  
(救急車については日本自動車工業会より寄贈される)
- 昭和58年 3月 吉備金屋消防組合(有田川町消防本部)との間に消防相互応援協定を締結  
5月 訓練塔を設置  
6月 第12回県下消防救助技術会へ出場(4名)  
7月 第12回消防救助技術東近畿地区指導会へ出場(2名)  
9月 広報車を購入
- 昭和59年 1月 消防長に 岡田 敏男 就任(湯浅町から派遣)  
4月 管理者に 広川町長 石原 久男氏 就任  
6月 ホンダスーパーカブ50CC購入  
第13回県下消防救助技術会へ出場(4名)  
7月 第13回消防救助技術東近畿地区指導会へ出場(1名)  
昭和60年1月職員1名退職(総員21名)
- 昭和60年 4月 新規職員1名採用し県消防学校初任教育に入校(総員22名)  
6月 第14回県下消防救助技術会へ出場(2名)  
7月 第14回消防救助技術東近畿地区指導会へ出場(2名)  
消防長に 中 盾夫 就任(湯浅町から派遣)  
9月 職員1名消防大学校火災調査講習会修了  
県消防学校初任教育1名修了  
昭和61年1月職員1名消防協会有田支部長より表彰される
- 昭和61年 3月 和歌山県農協共済福祉協会より救急車1台寄贈される  
4月 管理者に 湯浅町長 寺西 清氏 就任  
6月 第15回県下消防救助技術会へ出場(3名)  
7月 第15回消防救助技術東近畿地区指導会へ出場(2名)  
11月 職員2名県消防学校救急専科教育修了
- 昭和62年 4月 新規職員1名採用し県消防学校初任教育に入校(総員23名)  
6月 第16回県下消防救助技術会へ出場(3名)  
9月 県消防学校初任教育1名修了  
11月 職員2名県消防学校救急専科教育修了
- 昭和63年 1月 日高広域消防事務組合との間に消防相互応援協定を締結  
職員1名消防協会有田支部長より表彰される  
2月 和歌山県消防職員意見発表会にて最優秀賞受賞  
4月 管理者に 広川町長 石原 久男氏 就任  
新規職員1名採用し県消防学校初任教育に入校(総員24名)  
東近畿支部消防職員意見発表会出場  
6月 第17回県下消防救助技術会へ出場(5名)  
9月 県消防学校初任教育1名修了  
11月 職員2名県消防学校救急専科教育修了
- 平成 元年 2月 和歌山県消防職員意見発表会にて最優秀賞受賞  
3月 軽貨物車購入  
4月 新規職員1名採用し県消防学校初任教育に入校(総員25名)  
東近畿支部消防職員意見発表会出場  
6月 第18回県下消防救助技術会へ出場(5名)  
8月 吉備町で行われた和歌山県総合防災訓練へ参加  
9月 県消防学校初任教育1名修了  
10月 甲種防火管理者資格講習会実施  
11月 職員2名県消防学校専科教育救助科修了

- 集団救急事故想定訓練を湯浅町で実施
- 平成 2 年 12月 小型動力ポンプ付水槽車購入  
職員1名県消防学校救急専科教育修了
- 平成 2 年 1月 職員1名消防協会有田支部長より表彰される  
4月 管理者に 湯浅町長 寺西 清氏 就任  
5月 職員1名和歌山県知事より功労章を受章する  
6月 第19回県下消防救助技術会へ出場(5名)  
7月 兼任救助隊を設置
- 平成 3 年 11月 職員2名県消防学校専科教育救助科修了  
6月 第20回県下消防救助技術会へ出場(5名)  
9月 甲種防火管理者資格講習会実施
- 平成 4 年 11月 職員2名県消防学校専科教育救助科修了  
1月 職員1名消防協会有田支部長より表彰される  
4月 管理者に 広川町長 石原 久男氏 就任  
6月 第21回県下消防救助技術会へ出場(6名)  
7月 第21回消防救助技術東近畿地区指導会へ出場(1名)  
職員2名県消防学校専科教育救急科救急Ⅱ課程修了  
9月 集団救急事故想定訓練を湯浅町で実施
- 平成 5 年 11月 職員2名県消防学校専科教育救助科修了  
消防本部・消防署業務開始10周年式典を挙る  
12月 職員1名県消防学校専科教育予防科修了  
3月 日本自動車工業会より救急車1台寄贈される  
湯浅町、広川町災害弱者緊急通報システム運用開始  
4月 消防長に 竹内 久 就任(湯浅町から派遣)  
5月 職員1名和歌山県知事より功労章を受章する  
6月 第22回県下消防救助技術会へ出場(2名)  
7月 第22回消防救助技術東近畿地区指導会へ出場(2名)  
8月 積載車を購入、救助工作車として運用する  
9月 吉備町で行われた集団救急事故想定訓練に参加  
職員6名(救急隊3名、救助隊3名)国道42号線上の救急救助活動により管理者から表彰される
- 平成 6 年 11月 職員2名県消防学校専科教育救急科救急Ⅱ課程修了  
1月 職員1名消防協会有田支部長より表彰される  
3月 職員2名県消防学校専科教育救急科救急Ⅱ課程修了  
4月 管理者に 湯浅町長 寺西 清氏 就任  
新規職員2名採用し県消防学校初任教育に入校(総員27名)  
湯浅広川消防組合、有田消防組合、日高広域消防事務組合において中紀組合消防連絡協議会発足  
5月 職員1名和歌山県消防協会会長より功績章を受章する  
9月 県消防学校初任教育2名修了  
集団救急事故想定訓練を湯浅町で実施
- 平成 7 年 10月 原動機付自転車購入  
11月 職員2名県消防学校専科教育救急科救急Ⅱ課程修了  
12月 管理者に 湯浅町長 妻木 尚武氏 就任  
職員2名県消防学校専科教育救助科修了  
事務所、会議室、仮眠室 車庫の増築完了
- 平成 7 年 1月 消防長に 須井 義和 就任(湯浅町から派遣)  
阪神・淡路大震災において職員2名救助隊員として派遣  
2月 職員2名県消防学校専科教育救急科救急Ⅰ課程修了  
3月 職員2名県消防学校専科教育救急科救急Ⅱ課程修了  
職員1名派遣を解き湯浅町に帰任する(総員26名)  
4月 新規職員1名採用し県消防学校初任教育に入校(総員27名)  
6月 第24回県下消防救助技術会へ出場(6名)  
甲種防火管理者資格講習会実施  
7月 広報車購入  
8月 日本損害保険協会より消防ポンプ自動車(CD-1)を寄贈され受納式を挙る  
9月 県消防学校初任教育1名修了  
吉備町で行われた集団救急事故想定訓練に参加
- 11月 職員2名県消防学校専科教育救急科救急Ⅱ課程修了  
職員2名県消防学校応急手当指導員講習Ⅰ修了  
広川町津波避難訓練参加

- 平成8年
- 12月 職員2名県消防学校専科教育予防科修了
  - 1月 職員1名消防協会有田支部長より表彰される
  - 2月 湯浅御坊道路消防相互応援協定を締結  
湯浅御坊道路消防相互応援協定に基づく覚書を締結  
和歌山県防災ヘリコプター応援協定を締結  
人員搬送車購入
  - 3月 職員2名県消防学校専科教育救急科救急Ⅱ課程修了  
和歌山県下消防広域相互応援協定を締結  
和歌山県下消防広域相互応援協定に基づく覚書を締結  
有田市・有田消防組合・湯浅広川消防組合消防相互応援協定を締結  
有田市・有田消防組合・湯浅広川消防組合消防相互応援協定締結に基づく覚書を締結  
湯浅御坊道路開通
  - 4月 管理者に 広川町長 石原 久男氏 就任  
消防長に 山崎 哲男 就任(湯浅町から派遣)  
新規職員1名採用し県消防学校初任教育に入校(総員28名)
  - 5月 第11回職員救助練成会開催
  - 6月 第25回県下消防救助技術会へ出場(6名)
  - 7月 第25回消防救助技術東近畿地区指導会へ出場(6名)
  - 8月 職員1名退職(総員27名)
  - 9月 広川町津波避難訓練参加  
第1回吉備町総合防災訓練に参加  
県消防学校初任教育1名修了
  - 10月 湯浅広川消防組合消防職員委員会発足
  - 11月 職員2名県消防学校専科教育救急科救急Ⅱ課程修了  
職員2名県消防学校応急手当指導員講習Ⅰ修了  
職員1名退職(総員26名)  
近畿府県合同防災訓練へ参加
- 平成9年
- 12月 職員2名県消防学校専科教育救助科修了
  - 1月 職員2名県消防学校幹部教育中級幹部科修了  
第1回消防職員委員会開催
  - 2月 山之内製薬会社より救急車1台寄贈される  
職員2名(財)消防科学総合センター火災原因調査入門講座修了
  - 3月 職員2名県消防学校専科教育救急科救急Ⅱ課程修了  
職員2名(湯浅町1名、広川町1名)派遣を解き両町に帰任する(総員24名)  
消防本部・署の機構改革実施、3部制を導入する  
和歌山市消防局と医療資器材等搬送応援協定(継続)を締結
  - 4月 新規職員5名採用し県消防学校初任教育に入校(総員29名)  
湯浅広川消防組合応急手当の普及啓発活動の推進に関する実施要綱施行
  - 6月 第26回県下消防救助技術会へ出場(6名)
  - 8月 第34回和歌山県防災総合訓練へ参加
  - 9月 県消防学校初任教育5名修了  
集団救急事故想定訓練を広川町で実施
  - 10月 職員1名救急救命士養成所東京研修所へ派遣  
湯浅御坊道路防災訓練へ参加  
行幸啓消防特別警備実施(天皇皇后両陛下たちばな養護学校)
  - 11月 職員2名県消防学校応急手当指導員講習Ⅰ修了  
職員2名県消防学校専科教育救急科救急Ⅱ課程修了  
小型ポンプ軽積載車購入  
第2回消防職員委員会開催
  - 12月 鉄骨1階建車庫の増築及び駐車場整備完了し、建築面積  
474.69㎡、延べ面積627.66㎡となる。
- 平成10年
- 1月 職員1名消防協会有田支部長より表彰される
  - 3月 職員1名救急救命士東京研修所卒業  
職員2名県消防学校専科教育救急科救急Ⅱ課程修了
  - 4月 管理者に 湯浅町長 妻木 尚武氏 就任  
職員1名救急救命士国家試験に合格  
新規職員1名採用し県消防学校初任科入校(総員30名)
  - 5月 第13回職員救助練成会開催
  - 6月 第27回県下消防救助技術会へ出場(5名)

- 7月 甲種防火管理者資格講習会実施(24名受講)
- 8月 第27回消防救助技術東近畿地区指導会へ出場(3名)
- 9月 県消防学校初任教育1名修了
- 平成11年 10月 職員2名救急救命士養成のため東京及び神戸研修所に派遣
- 2月 水槽付小型消防自動車購入
- 3月 職員2名救急救命士・東京及び神戸研修所卒業  
職員2名救急標準課程修了
- 4月 職員2名救急救命士国家試験に合格  
新規職員1名採用し県消防学校初任科入校(総員31名)
- 6月 第28回県下消防救助技術会へ出場(6名)
- 7月 消防長に 山家 修 就任(湯浅町から派遣)  
第28回消防救助技術東近畿地区指導会へ出場(3名)  
甲種防火管理者資格講習会実施
- 9月 集団救急事故想定訓練を広川町で実施  
県消防学校初任教育1名修了
- 10月 高規格救急車購入
- 11月 高規格救急車運用開始  
1名湯浅町からの派遣を解き、湯浅町に帰任(総員30名)  
消防長事務取扱に 上山 章善 就任(湯浅町助役)  
防災指導車購入  
職員2名県消防学校専科教育予防科火災調査課程修了
- 平成12年 1月 職員1名消防協会有田支部長より表彰される
- 3月 職員3名救急標準課程修了  
救助用ボート購入
- 4月 管理者に 広川町長 石原 久男氏 就任  
消防長事務取扱に 白倉 充 就任(広川町助役)  
職員1名救急救命士養成所東京研修所へ派遣
- 6月 第29回県下消防救助技術会へ出場(9名)
- 7月 第29回消防救助技術東近畿地区指導会へ出場(6名)
- 9月 職員1名救急救命士東京研修所卒業  
救助工作車購入
- 10月 職員1名救急救命士国家試験に合格
- 11月 職員2名県消防学校専科教育救助科修了  
近畿府県合同防災訓練に参加
- 平成13年 3月 職員3名救急標準課程修了
- 5月 林野火災警防演習訓練  
(防災航空隊・湯浅町消防団・広川町消防団参加)
- 6月 第30回県下消防救助技術会へ出場(7名)
- 7月 第30回消防救助技術東近畿地区指導会へ出場(3名)
- 9月 職員1名救急救命士・東京研修所卒業  
集団救急事故訓練を湯浅町で実施
- 10月 職員1名県消防学校専科教育警防科修了
- 11月 職員1名県消防学校専科教育予防科火災調査課程修了  
職員1名救急救命士国家試験に合格
- 平成14年 1月 職員1名消防協会有田支部長より表彰される
- 3月 職員1名救急標準課程修了
- 4月 管理者に 湯浅町長 妻木 尚武氏 就任  
消防長に 寺西 義次 就任(湯浅町から派遣)
- 6月 第31回県下消防救助技術会へ出場(6名)
- 7月 第31回消防救助技術東近畿地区指導会へ出場(6名)
- 10月 甲種防火管理者資格講習会実施
- 平成15年 2月 ドクターヘリ合同訓練実施
- 6月 第32回県下消防救助技術会へ出場(8名)
- 7月 消防長に 黒川 博務 就任(湯浅町から派遣)  
第32回消防救助技術東近畿地区指導会へ出場(9名)  
平成15年度防災航空隊連携訓練実施
- 8月 第32回全国消防救助技術大会へ出場(3名)
- 9月 和歌山県下(紀中ブロック)緊急消防援助隊合同訓練実施
- 11月 職員2名県消防学校専科教育予防科火災調査課程修了

- 平成16年 1月 職員1名消防協会有田支部長より表彰される  
3月 高規格救急車購入  
4月 管理者に 広川町長 石原 久男氏 就任  
6月 第33回県下消防救助技術会へ出場(8名)  
7月 第33回消防救助技術東近畿地区指導会へ出場(3名)  
9月 有田市で行われた和歌山県総合防災訓練へ参加  
11月 職員2名県消防学校救急救命士気管挿管講習課程修了  
12月 職員2名県消防学校専科教育救助科修了
- 平成17年 1月 消防長に 三橋 雄作 就任(湯浅町から派遣)  
職員1名消防協会有田支部長より表彰される  
6月 第34回県下消防救助技術会へ出場(7名)  
7月 第34回消防救助技術東近畿地区指導会へ出場(3名)  
9月 職員1名救急救命士・東京研修所卒業  
集団救急事故訓練を湯浅町で実施  
10月 管理者に 広川町長 白倉 充氏 就任  
職員1名県消防学校専科教育特殊災害科修了  
近畿府県合同防災訓練に参加  
11月 職員2名県消防学校救急救命士気管挿管講習課程修了
- 平成18年 1月 職員1名消防協会有田支部長より表彰される  
3月 職員1名和歌山県消防協会会長より功労賞を授与する  
4月 管理者に 湯浅町長 伏木 建氏 就任  
6月 第35回県下消防救助技術会へ出場(5名)  
7月 職員1名救急救命士薬剤投与追加講習修了  
8月 第35回全国消防救助技術大会へ出場(3名)  
10月 平成18年度防災航空隊連携訓練実施  
職員1名県消防学校救急救命士気管挿管講習課程修了  
11月 緊急援助隊中紀ブロック訓練に参加
- 平成19年 1月 職員1名消防協会有田支部長より表彰される  
3月 ポンプ車購入  
人員搬送車購入  
4月 新規職員2名採用し県消防学校初任教育に入校(総員32名)  
5月 職員1名救急救命士薬剤投与追加講習終了  
湯浅広川消防組合、有田川町消防本部、有田市消防本部において、有田地域消防連絡協議会発足  
6月 広報車購入  
第36回県下消防救助技術会へ出場(5名)  
8月 財団法人宝くじ協会より消火通報訓練指導車「けすゾウくん」を寄付される。  
9月 県消防学校初任教育2名修了  
11月 職員1名県消防学校専科教育予防科火災調査課程修了
- 平成20年 1月 職員1名消防協会有田支部長より表彰される  
3月 職員2名救急標準課程修了  
4月 管理者に 広川町長 白倉 充氏 就任  
消防長に 辻岡 尚男 就任  
新規職員1名採用し県消防学校初任教育科入校(総員32名)  
5月 職員1名救急救命士薬剤投与追加講習終了  
6月 第37回県下消防救助技術会へ出場(7名)  
職員1名退職(総員31名)  
7月 職員1名消防大学校火災調査科修了  
8月 平成20年度緊急消防援助隊近畿ブロック合同訓練に参加  
9月 県消防学校初任教育1名修了  
10月 職員1名県消防学校幹部教育上級幹部科修了  
林野火災警防演習訓練  
(防災航空隊・湯浅町消防団・広川町消防団参加)  
11月 職員1名県消防学校専科教育救助科修了  
平成20年度防災航空隊連携訓練実施  
12月 職員1名県消防学校専科教育特殊災害科修了
- 平成21年 1月 職員1名消防協会有田支部長より表彰される  
3月 職員1名救急救命士・九州研修所卒業  
職員1名救急標準課程修了  
4月 職員1名救急救命士国家試験に合格

- 新規職員1名採用し県消防学校初任教育科入校(総員32名)
- 平成22年 6月 第38回県下消防救助技術会へ出場(8名)  
平成21年度合同水難救助訓練実施  
(有田川町消防本部・湯浅警察署参加)
- 7月 職員1名救急救命士薬剤投与追加講習終了
- 9月 県消防学校初任教育1名修了
- 11月 職員1名県消防学校専科教育警防科修了  
緊急援助隊中紀ブロック訓練に参加
- 12月 職員1名県消防学校幹部教育中級幹部科修了
- 平成22年 1月 職員1名消防協会有田支部長より表彰される
- 3月 職員3名和歌山県知事より功労章を表彰される  
職員1名和歌山県知事より永年勤続功労章を表彰される  
職員1名県消防学校専科教育救急科修了
- 4月 管理者に 湯浅町長 上山 章善氏 就任  
職員1名救急救命士国家試験に合格  
有田市消防本部・有田川町消防本部・湯浅広川消防組合  
消防本部・日高広域消防事務組合消防本部・御坊市消防本部において紀中消防連絡協議会を発足
- 5月 高規格救急車購入
- 6月 第39回県下消防救助技術会へ出場(10名)
- 8月 職員1名全国消防協会より全国優良消防職員表彰される
- 9月 職員1名救急救命士薬剤投与追加講習終了  
水難救助車購入  
集団救急事故訓練を湯浅町で実施
- 11月 職員1名県消防学校専科教育救助科修了  
潜水隊発足(隊員9名)
- 平成23年 12月 職員1名県消防学校専科教育予防科修了
- 平成23年 1月 職員1名消防協会有田支部長より表彰される
- 3月 東日本大震災において職員6名を緊急消防援助隊として宮城県石巻市へ派遣  
職員3名消防庁長官より消防功労者消防庁長官表彰永年勤続  
功労章を表彰される
- 4月 新規職員2名採用し県消防学校初任教育科入校(総員34名)
- 5月 平成23年度合同水難訓練実施(海上保安庁、泉佐野消防本部)
- 7月 職員1名救急救命士薬剤投与追加講習修了
- 9月 県消防学校初任教育2名修了  
平成23年度合同水難救助訓練を実施(有田市消防本部)  
台風12号において職員6名を和歌山県下消防広域応援隊として新宮市へ派遣
- 10月 緊急援助隊中紀ブロック訓練に職員3名が参加
- 12月 職員1名県消防学校専科教育中級幹部科修了
- 平成24年 1月 職員1名消防協会有田支部長より表彰される
- 3月 職員3名和歌山県知事より功労章を表彰される  
職員1名消防庁長官より消防功労者消防庁長官表彰永年勤続功労章を表彰される  
職員13名全国消防長会長より全国消防長会永年勤続功労者表彰30年勤続を表彰される
- 4月 管理者に 広川町長 白倉 充氏 就任
- 7月 平成24年度合同水難訓練を実施(海上保安庁、日高広域消防事務組合消防本部、御坊市消防本部)
- 8月 平成24年度合同水難救助訓練を実施(御坊市消防本部、日高広域消防事務組合消防本部)
- 11月 職員1名県消防学校専科教育警防科修了  
平成24年度阪和自動車道路防災訓練実施
- 12月 職員2名県消防学校専科教育救助科修了  
職員1名県消防学校専科教育初級幹部科修了
- 平成25年 1月 職員1名消防協会有田支部長より表彰される
- 3月 職員1名消防庁長官より消防功労者消防庁長官表彰永年勤続功労章を表彰される
- 4月 新規職員2名採用し県消防学校初任教育科1名入校(総員36名)
- 6月 第42回県下消防救助技術会へ出場(10名)
- 7月 職員1名退職(総員35名)  
平成25年度警察、消防合同水難訓練を実施  
(有田川町消防本部、有田市消防本部、湯浅警察署)
- 8月 有田市合同水難救助訓練を実施
- 9月 新規職員1名採用(総員36名)  
県消防学校初任教育科1名修了

- 10月 管理者に 広川町長 西岡 利記氏 就任  
職員2名県消防学校火災調査科修了
- 11月 職員1名県消防学校予防査察科修了
- 平成26年 1月 職員1名消防協会有田支部長より表彰される  
3月 職員2名消防庁長官より消防功労者消防庁長官表彰永年勤続功労章を表彰される  
職員1名和歌山県知事より功労章を表彰される  
職員2名県消防学校専科教育救急科修了  
4月 管理者に 湯浅町長 上山 章善氏 就任  
職員1名県消防学校初任教育科入校  
6月 第43回県下消防救助技術大会へ出場(8名)  
平成26年度警察・消防合同水難訓練を実施(有田川町消防本部、有田市消防本部、湯浅警察署)  
7月 職員3名救急救命士処置拡大追加講習修了  
9月 兵庫県火災調査研修に参加(4名)  
有田市消防本部合同水難訓練を実施(9名)  
職員1名県消防学校初任教育科修了
- 平成27年 10月 職員1名県消防学校専科教育上級幹部科修了  
緊急消防援助隊近畿ブロック訓練に参加(7名)  
1月 職員1名消防協会有田支部長より表彰される  
3月 職員2名消防庁長官より消防功労者消防庁長官表彰永年勤続功労章を表彰される  
職員3名和歌山県知事より功労章を表彰される  
職員1名全国消防長会会長より全国消防長会永年勤続功労者表彰30年勤続を表彰される  
職員1名救急救命士・東京研修所卒業  
職員1名県消防学校専科教育救急科修了  
4月 職員1名救急救命士国家試験に合格  
湯浅広川消防組合新庁舎竣工式  
湯浅広川消防組合新庁舎業務開始  
6月 第44回県下消防救助技術大会へ出場(9名)  
7月 平成27年合同水難訓練を実施(湯浅警察、有田川町消防本部、有田市消防本部)  
職員1名救急救命士薬剤投与追加講習終了  
10月 緊急消防援助隊近畿ブロック訓練に参加(3名)  
職員1名県消防学校専科教育中級幹部科修了  
11月 職員1名県消防学校火災調査科修了  
12月 職員1名和歌山県消防学校専科教育警防科修了  
有田郡市集団災害訓練に参加(7名)
- 平成28年 1月 職員1名消防協会有田支部長より表彰される  
3月 職員1名県消防学校通信指令専科修了  
職員1名和歌山県知事より功労章を表彰される  
職員1名救急救命士・東京研修所卒業  
4月 管理者に 広川町長 西岡 利記氏 就任  
職員1名救急救命士国家試験に合格  
新規職員2名採用し県消防学校初任教育科入校(総員38名)  
警察合同防災訓練実施  
6月 第45回県下消防救助技術大会へ出場(9名)  
8月 有田市合同水難救助訓練を実施  
9月 緊急消防援助隊紀中ブロック訓練実施(5名)  
県消防学校初任教育科2名修了・続いて専科教育救急科に入校  
救助潜水士研修参加(1名)  
10月 救助潜水訓練士講習参加(1名)  
12月 県消防学校専科教育救急科2名修了
- 平成29年 1月 職員1名消防協会有田支部長より表彰される  
平成28年度集団救急事故訓練実施  
3月 タンク車購入  
太陽光発電設備設置事業完成(太陽光発電設備10kW、蓄電池設備15kWh)  
職員1名消防庁長官より消防功労者消防庁長官表彰功労章を表彰される  
職員1名全国消防長会会長より全国消防長会永年勤続功労者表彰30年勤続を表彰される  
職員1名退職(総員37名)  
4月 消防長に 大西 和彦 就任  
新規採用職員1名採用し県消防学校初任教育入校(総員38名)  
6月 第46回県下消防救助技術大会へ出場(9名)



- 潜水隊2名合同潜水訓練参加(那智勝浦町消防本部他県内6消防本部)
- 9月 平成29年有田市合同水難訓練参加(有田警察署、有田市消防本部、有田川町消防本部)  
平成29年警察・消防合同訓練参加(湯浅警察署、有田市消防本部、有田川町消防本部)  
湯浅・広川両町消防団及び和歌山県防災航空隊との連携訓練実施  
職員1名県消防学校初任教育修了
- 10月 高規格救急車購入  
職員1名県消防学校特別教育水難救助教育修了  
職員1名県消防学校特別教育潜水救助教育修了
- 11月 湯浅町防災フェスタ開催  
県下消防職員体育訓練大会(第17回駅伝大会)参加(8名)  
職員1名県消防学校専科教育救助科修了  
職員2名県消防学校特別教育ポンプ操法指導員教育修了
- 12月 職員1名県消防学校特別教育自然災害対応教育修了  
職員1名県消防学校幹部教育初級幹部科修了
- 平成30年 1月 職員1名消防協会有田支部長より表彰される  
3月 職員1名消防庁長官より消防功労者消防庁長官表彰功労章を表彰される  
職員1名県消防学校専科教育救急科修了  
職員1名全国消防長会会長より全国消防長会永年勤続功労者表彰30年勤続を表彰される  
職員2名退職(総員36名)  
4月 管理者に 湯浅町長 上山 章善氏 就任  
消防長に 上田 哲也 就任  
新規採用職員4名採用し県消防学校初任教育入校(総員40名)  
6月 第46回県下消防救助技術大会へ出場(9名)  
8月 平成30年警察・消防合同訓練(湯浅警察、有田川町消防本部、有田市消防本部)  
9月 防災指導車購入  
職員1名救急救命士・東京研修所卒業  
職員4名県消防学校初任教育修了
- 10月 職員1名県消防学校特別教育水難救助教育修了  
職員1名県消防学校特別教育潜水救助教育修了  
職員1名県消防学校中級幹部科修了
- 11月 職員2名県消防学校火災調査科修了
- 12月 職員1名県消防学校専科教育特殊災害科修了  
職員1名県消防学校上級幹部科修了
- 令和元年 1月 職員1名有田地域消防協会長より表彰される  
職員1名和歌山県消防協会長より20年勤続を表彰される  
2月 職員1名消防大学校幹部科修了  
3月 職員1名全国消防長会会長より全国消防長会永年勤続功労者表彰30年勤続を表彰される  
職員1名日本消防協会会長より日本消防協会会長表彰30年勤続章を表彰される  
職員1名和歌山県知事より和歌山県知事表彰永年勤続功労章を表彰される  
職員1名和歌山県消防協会総裁より和歌山県消防協会総裁表彰功績章を表彰される  
職員2名消防庁長官より消防庁長官表彰永年勤続功労章を表彰される  
職員3名県消防学校専科教育救急科修了  
軽多目的車購入  
職員3名退職(総員37名)  
4月 消防長に 牛居 初穂 就任  
職員1名救急救命士国家試験に合格  
職員1名再任用、新規採用職員2名採用し県消防学校初任教育入校(総員40名)  
6月 第47回県下消防救助技術大会へ出場(8名)  
7月 職員1名消防大学校幹部科修了  
9月 職員1名県消防学校特別教育水難救助教育修了  
10月 職員1名県消防学校特別教育潜水救助教育修了  
11月 県下消防職員体育訓練大会(第18回駅伝大会)参加(7名)  
職員1名専科教育救助科修了  
職員1名専科教育警防科修了  
救助工作車購入  
12月 職員1名特別教育自然災害対応教育修了  
職員1名幹部教育初級幹部科修了
- 令和2年 1月 職員1名有田地域消防協会長より表彰される  
職員1名和歌山県消防協会長より20年勤続を表彰される

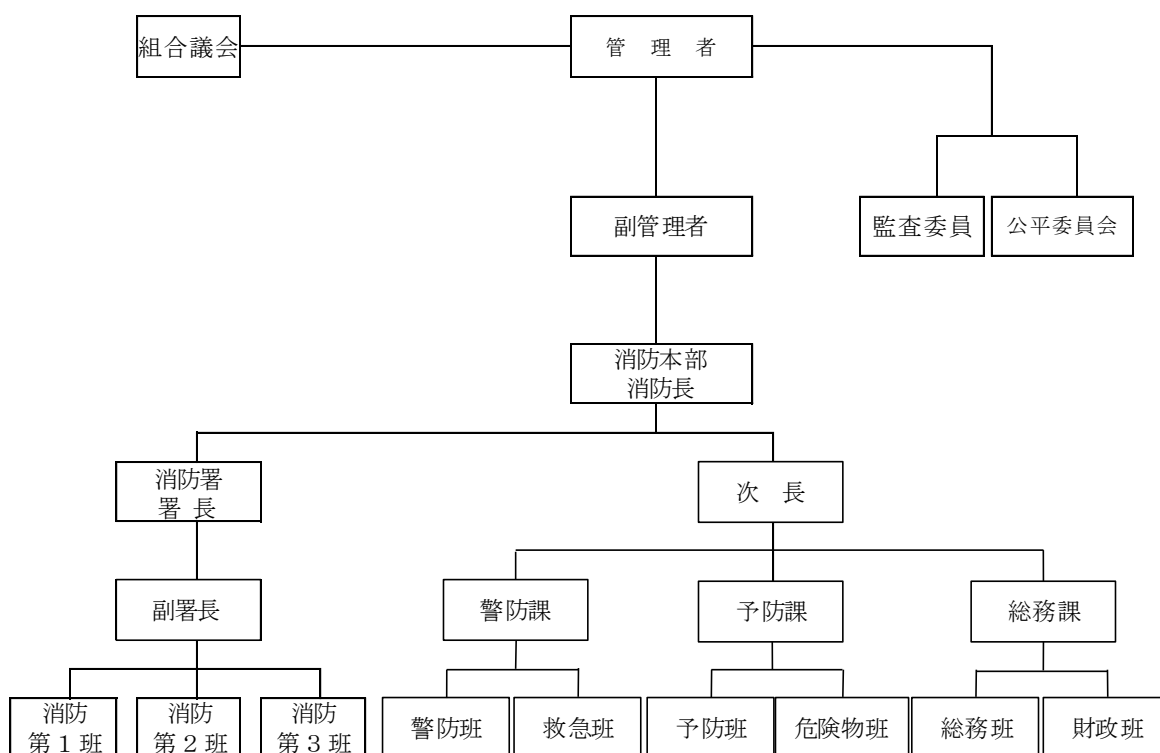
- 3月 職員1名和歌山県知事より永年勤続功労章を表彰される  
職員1名日本消防協会会長より勤続章(30年)を表彰される
- 4月 職員2名県消防学校専科教育救急科修了  
職員1名退職(総員39名)
- 9月 職員1名救急救命士国家試験に合格  
新規採用職員3名採用し、県消防学校初任教育入校(総員42名)
- 10月 職員1名救急救命士・東京研修所卒業
- 12月 職員3名県消防学校初任教育修了  
職員2名県消防学校専科教育救急科2名入校  
県消防学校専科教育救急科2名修了

# 総務



管内航空写真

## 組合の機構



## 消防庁舎の現況

湯浅広川消防組合消防本部 電話 (0737) 64-0119  
 湯浅広川消防組合消防署 FAX (0737) 63-6626  
 地域防災センター

所在地：和歌山県有田郡湯浅町大字青木670番地  
 本庁舎：延べ面積 930.57㎡  
 防災センター：延べ面積 299.56㎡  
 車庫：延べ面積 356.63㎡  
 訓練塔：延べ面積 162.25㎡  
 補助訓練塔：延べ面積 36.00㎡  
 自家給油取扱所：10kℓ地下タンク(ガソリン6,000ℓ、軽油4,000ℓ)  
 太陽光発電設備：太陽光発電設備10kW・蓄電池設備15kWh

## 管内面積、人口及び世帯数

(令和2年12月31日現在)

	湯浅町	広川町	合計
面積	20.80 k㎡	65.33 k㎡	86.13 k㎡
人口	11,688	6,853	18,541
世帯数	5,403	2,818	8,221

## 消防予算

4月1日基準の人口・世帯数

	消 防 組 合 決算額 (千円)	構成町一般会計 決算総額 (千円)	構成町消防費 決算総額 (千円)	人 口 (人)	世帯数 (戸)
平成29年度	446,305	15,358,133	580,739	19,688	8,318
平成30年度	445,721	15,824,505	596,230	19,369	8,275
令和元年度	466,536	16,336,236	602,889	19,033	8,255
令和2年度	441,250	14,321,747	578,439	18,711	8,231

※令和2年度のみ当初予算

## 職員の階級別勤続年数

(令和2年12月31日現在)

	消 防 司令長	消 防 司 令	消 防 司令補	消 防 士 長	消 防 副士長	消防士	計
5年未満					1	11	12
5年以上～10年未満				2	2	1	5
10年以上～15年未満				4			4
15年以上～20年未満							0
20年以上～25年未満		1	7				8
25年以上	1	8	4				13
合 計	1	9	11	6	3	12	42

## 職員の階級別年齢状況

(令和2年12月31日現在)

	消 防 司令長	消 防 司 令	消 防 司令補	消 防 士 長	消 防 副士長	消防士	計
25歳未満						9	9
25歳以上～30歳未満					3	3	6
30歳以上～35歳未満				5			5
35歳以上～40歳未満				1			1
40歳以上～45歳未満			4				4
45歳以上～50歳未満			5				5
50歳以上～55歳未満		3	1				4
55歳以上～60歳未満		5					5
60歳以上	1	1	1				3
合 計	1	9	11	6	3	12	42

## 消防本部職員配置表

(令和2年12月31日現在)

	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士	計
消防長	1						1
次長		1					1
課長		3					3
副課長		3					3
総務班長			1				1
財政班長			1				1
総務係長							0
財政係長			1				1
総務主任							0
財政主任							0
総務係員						4	4
財政係員					1	1	2
予防班長			1				1
危険物班長			1				1
予防係長			1				1
危険物係長				1			1
予防主任				1			1
危険物主任				2			2
予防係員						1	1
危険物係員							0
警防班長			1				1
救急班長			1				1
警防係長			1				1
救急係長			1				1
警防主任				1			1
救急主任				1			1
警防係員						5	5
救急係員					2	1	3
総務課付							0
予防班再任用			1				1
合計	1	7	11	6	3	12	40

## 消防署職員配置表

(令和2年12月31日現在)

	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士	計
署長		1					1
副署長		1					1
消防班長			3				3
消防副班長			3				3
消防班員			4	6	3	11	24
消防班勤務		2					2
合計	0	4	10	6	3	11	34

## 消防職員の資格取得状況

(令和2年12月31日現在)

	消 防 司 令 長	消 防 司 令	消 防 司 令 補	消 防 士 長	消 防 副 士 長	消防士	計
大型第1種		3	5	1			9
大型特殊		1	1				2
普通第1種(準中型・中型第1種を含む)	1	9	11	6	3	12	42
小型船舶操縦士	1	4	6	3	1		15
小型移動式クレーン	1	6	10	6	3	6	32
救急I課程	1	8	3				12
救急II課程	1	8	3				12
救急標準課程		1	8	6	3	10	28
救急救命士		1	6	2	1	1	11
特殊無線技師	1	9	11	6	3	12	42
消防設備士(乙種)		2	1	1			4
危険物取扱者(甲,乙,丙)	1	5	5	2		1	14
酸素欠乏危険作業主任者		1	8				9
ガス溶接技能講習	1	4	3	1			9
アーク溶接業務特別教育		2	2				4
玉掛け技能講習	1	4	10	6	3	5	29
足場組立作業主任者			1				1
自動車3級整備士		1	1				2
フォークリフト技能講習		2	1				3
第2種電気工事士		1	1	1			3
特定化学物質等取扱作業主任者			1				1
潜水士		2	6	6	2	5	21
救助潜水訓練士		1	3				4
予防技術検定(危険物)		4	4	1			9
予防技術検定(設備)		4	2	1			7
予防技術検定(査察)		5	4	2		1	12

# 予 防



津波避難訓練



# 防火対象物の現況

(令和2年12月31日現在)

町 別		湯 浅 町	広 川 町	計	
1 項	イ	映画館・観覧場等	1		1
	ロ	公会堂・集会場等	14	19	33
2 項	イ	キャバレー・ナイトクラブ等			
	ロ	遊技場・ダンスホール等	1		1
	ハニ	性風俗特殊営業を営む店舗等 カラオケボックス等	1		1
3 項	イ	待合・料理店等			
	ロ	飲食店等	8	2	10
4 項		百貨店・マーケット等	19	1	20
5 項	イ	旅館・ホテル・宿泊所等	14	4	18
	ロ	共同住宅・寄宿舎・下宿等	49	13	62
6 項	イ	病院・診療所・助産所等	6	3	9
	ロ	老人福祉施設等（要介護者入居施設等）	6	6	12
	ハニ	老人福祉施設等（ロ以外の施設等） 幼稚園・特別支援学校等	9 1	7 1	16 2
7 項		小・中・高・大 学 校 等	8	8	16
8 項		図 書 館 ・ 博 物 館 等	1	3	4
9 項	イ	特 殊 浴 場 等			
	ロ	イ 以 外 の 公 衆 浴 場	1	1	2
10 項		車 両 以 外 の 停 車 場 等	1		1
11 項		神 社 ・ 寺 院 ・ 教 会 等	3	1	4
12 項	イ	工 場 ・ 作 業 場 等	40	31	71
	ロ	テ レ ビ ・ 映 画 ス タ ジ オ 等			
13 項	イ	自 動 車 車 庫 ・ 駐 車 場 等	7	1	8
	ロ	飛 行 機 等 の 格 納 庫			
14 項		倉 庫 等	21	14	35
15 項		前各号に該当しない事業所	44	12	56
16 項	イ	特 定 複 合 用 途 防 火 対 象 物	34	7	41
	ロ	イ 以 外 の 複 合 用 途 防 火 対 象 物	2	3	5
17 項		重 要 文 化 財 等	7	6	13
合 計			298	143	441

# 消防用設備設置件数

(過去5年間)

年 別		平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年
消火設備	消 火 器	6	12	7	6	7
	屋 内 消 火 栓 設 備	2	1	4	2	2
	屋 外 消 火 栓 設 備					
	ス プ リ ン ク ラ ー 設 備	2				
	粉 末 消 火 設 備 等	1	1	1	1	
	特 殊 消 防 用 設 備 等					
警報設備	自 動 火 災 報 知 設 備	7	13	10	12	5
	非 常 警 報 設 備	3	3	5		3
	漏 電 火 災 警 報 器					
	消 防 通 報 火 災 報 知 設 備	4	2	9	1	
避難設備	避 難 器 具	2			1	1
	誘 導 灯	6	9	6	9	6
合 計		33	41	42	32	24

## 予防関係届出処理状況

(過去5年間)

区 分		年 別				
		平成 28年	平成 29年	平成 30年	令和 元年	令和 2年
消防法関係	防火管理者選任（解任）任届	24	18	29	29	23
	消防計画作成（変更）届	28	29	24	29	26
	工事整備対象設備着工届	21	13	20	12	16
	消防用設備等設置届	31	35	34	27	36
	消防用設備等点検結果報告書	141	131	109	139	159
火災予防条例関係	圧縮アセチレンガス等貯蔵又は取り扱いの開始届	1	3	3	2	1
	防火対象物使用開始届	5	11	4	5	5
	炉、かまど、ボイラー等設置届	0	1	0	5	6
	変電、発電、蓄電池設備設置届	8	9	7	4	22
	水素ガスを充填する気球の設置届					
	火災とまぎらわしい煙等の届	38	33	33	33	37
	煙火打ち上げ届					4
	水道断水・減水届出書	4	3		4	1
	道路工事・占有届	17	13		29	37
	少量危険物、指定可燃物貯蔵届		11	5	5	9
産業保安	催物開催届	1	1		2	3
	液化石油ガス関係	20	7	15	22	8
	火薬類関係	8	6	7	32	22
	高圧ガス関係	16	4	6	4	6
合 計		363	328	296	383	421

## 広報実施状況

(令和2年中)

主 な 広 報 活 動	対象数
立て看板、ポスターの設置	160 個
横断幕、防火のぼりの設置	200 本
街頭広報（広報予防ティッシュの配布）	
”（車両による巡回）	1回
町放送、有線放送による広報	2回

## 訓練指導状況

(過去5年間)

区 分		年 別				
		平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年
消 火 訓 練		13	24	34	20	18
避 難 ・ 通 報 訓 練		26	38	29	26	35
総 合 訓 練		46	50	49	62	48
防 火 映 画 等		5	10	10	1	6
起 震 車 ・ 煙 体 験		4	5	4	4	2
合 計		94	127	126	113	109

## 建築確認同意事務処理状況

(過去5年間)

種 別 \ 年 別		平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年
新	築	12	14	11	13	12
増	築		2	1	1	1
改	築		1			
そ	の 他					
合 計		12	17	12	14	13

## 建築確認同意事務町別状況

(過去5年間)

種 別 \ 年 別		平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年
湯	浅 町	7	11	10	9	8
広	川 町	5	6	2	5	5
合 計		12	17	12	14	13

## 建築確認用途別申請内訳

(過去5年間)

用 途 \ 年 別		平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年
公 会 堂 ・ 集 会 場 等		1	2			1
飲 食 店 等						
物 品 販 売 店 舗 等			3	1	1	
旅 館 ・ ホ テ ル 等					2	
共 同 住 宅 等				1		2
病 院 ・ 診 療 所 等						
老 人 福 祉 施 設 等		1				2
学 校 等						
図 書 館 ・ 博 物 館 ・ 美 術 館 等						1
神 社 ・ 寺 院 ・ 教 会 等						
工 場 ・ 作 業 場 等		1	2	3	5	
車 庫 ・ 駐 車 場 等		3	1		2	
倉 庫 等		3	6	3	3	1
事 務 所 等		1	2			1
複 合 用 途 防 火 対 象 物		1	1	2		3
専 用 住 宅		1				1
併 用 住 宅						
そ の 他 の 工 作 物 等				2	1	1
合 計		12	17	12	14	13

# 危険物施設数

(令和2年12月31日現在)

施設区分		町別		
		湯浅町	広川町	計
貯蔵所	屋内貯蔵所	3	1	4
	屋外タンク貯蔵所	5	8	13
	屋内タンク貯蔵所			
	地下タンク貯蔵所	16	1	17
	移動タンク貯蔵所	5	8	13
	屋外貯蔵所	1		1
	簡易タンク貯蔵所		1	1
	小計	30	19	49
取扱所	給油取扱所	15	7	22
	一般取扱所	7	2	9
	小計	22	9	31
	合計	52	28	80

# 危険物関係申請、届出受理状況

(過去5年間)

区分	年別				
	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年
設置許可申請			2	1	3
変更許可申請	6			1	5
完成検査申請	6		2	3	8
仮使用承認申請	4			1	5
完成検査前検査申請	4				
譲渡引渡届	1	4	1		
種類・数量変更届	1			1	
保安監督者選解任届	3	6	15	2	3
住所・氏名変更届	2	2	4	1	
軽微な変更届	2	6	13	7	5
休廃止届	4	1	1	7	
合計	33	19	38	24	29

# 立入検査等実施状況

(過去5年間)

区 分		年 別		平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年
		平成28年	平成29年					
1項	イ	映画館・観覧場等		1		2		
	ロ	公会堂・集会場等		2		12		
2項	イ	キャバレー等						
	ロ	遊技場・ダンスホール等		1				
	ハ	性風俗店舗等						
3項	イ	待合・料理店等						
	ロ	飲食店等				5	62	
4項		百貨店・マーケット等		5	6	1	4	
5項	イ	旅館・ホテル・宿泊所		6	3	3	5	
	ロ	共同住宅・寄宿舎等				9		
6項	イ	病院・診療所・助産所		3	3	1	2	
	ロ	老人福祉施設等(要介護者入居施設等)		11	11	3	6	
	ハ	老人福祉施設等(ロ以外の施設等)		2	3	11	1	
7項	イ	幼稚園・特別支援学校等			1	2		
	ロ	小・中・高・大 学校等			13	13		
8項		図書館・博物館等				2		
9項	イ	特殊浴場等						
	ロ	イ以外の公衆浴場						
10項		車両以外の停車場等						
11項		神社・寺院・教会等						
12項	イ	工場・作業場等						
	ロ	テレビ・映画スタジオ						
13項	イ	自動車車庫・駐車場等						
	ロ	飛行機等の格納庫						
14項		倉庫等						
15項		事業所等				6		
16項	イ	特定複合用途防火対象物			4	12		
	ロ	イ以外の複合用途			13	13		
17項		重要文化財等		13	13		9	
合 計				45	70	95	89	0

	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年
危険物施設	28	34	15	23	3

## 防火対象物定期点検報告及び特例認定状況

(令和2年12月31日現在)

	1項イ	1項ロ	4項	5項イ	6項イ	合 計
防火対象物定期点検		3	1	1		5
特 例 認 定						0

# 防火管理の状況

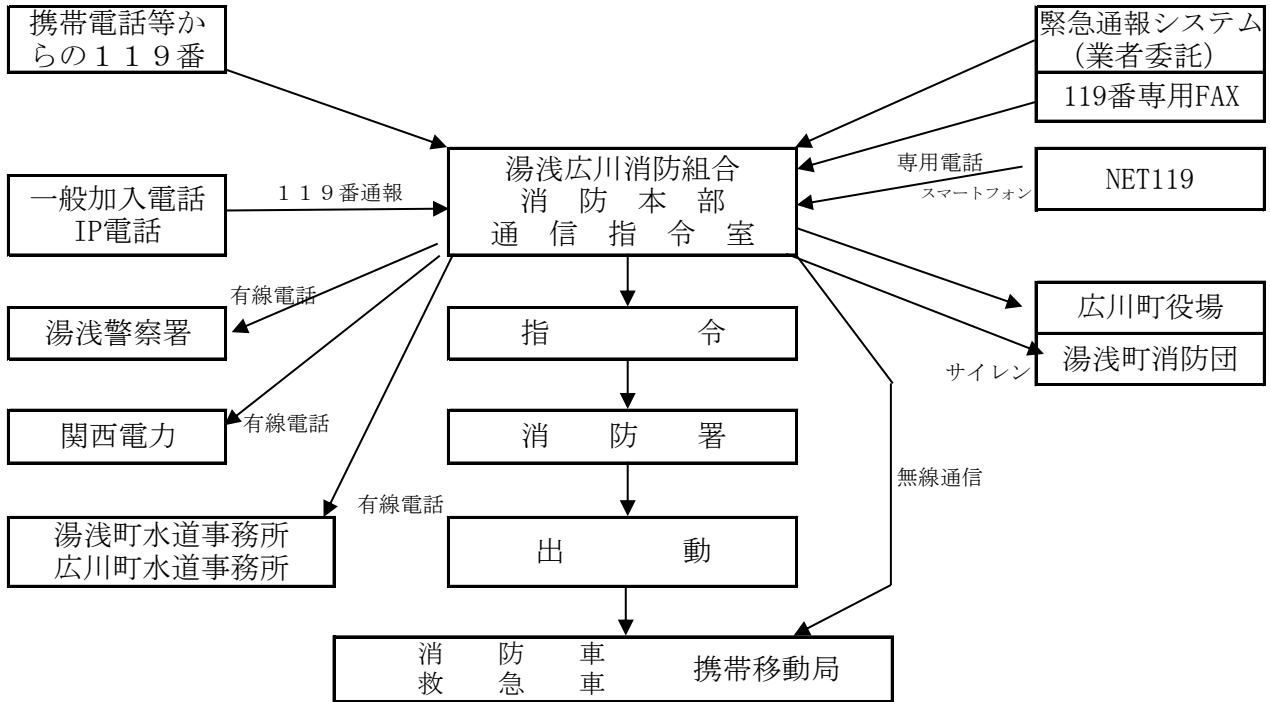
(令和2年12月31日現在)

項 別		区 分	法8対象物	選任済対象物	消防計画届出
1項	イ	映画館・観覧場等	1	1	1
	ロ	公会堂・集会場等	27	12	12
2項	イ	キャバレー・ナイトクラブ等			
	ロ	遊技場・ダンスホール等	1	1	1
	ハ	性風俗特殊営業を営む店舗等			
3項	イ	カラオケボックス等	1	1	1
	ロ	待合・料理店等			
4項	イ	飲食店等	9	4	2
	ロ	百貨店・マーケット等	15	10	8
5項	イ	旅館・ホテル・宿泊所等	9	7	7
	ロ	共同住宅・寄宿舎・下宿等	19	11	7
6項	イ	病院・診療所・助産所等	3	3	3
	ロ	老人福祉施設等(要介護者入居施設等)	11	11	11
	ハ	老人福祉施設等(ロ以外の施設等)	14	14	14
7項	イ	幼稚園・特別支援学校等	2	2	2
	ロ	小・中・高・大学校等	13	13	13
8項	イ	図書館・博物館等	3	3	3
9項	イ	特殊浴場等			
	ロ	イ以外の公衆浴場	2	1	1
10項	イ	車両以外の停車場等			
11項	イ	神社・寺院・教会等	2	1	1
12項	イ	工場・作業場等	3	3	3
	ロ	テレビ・映画スタジオ等			
13項	イ	自動車車庫・駐車場等			
	ロ	飛行機等の格納庫			
14項	イ	倉庫等			
15項	イ	前各号に該当しない事業所	15	15	9
16項	イ	特定複合用途防火対象物	18	17	15
	ロ	イ以外の複合用途防火対象物	1	1	1
17項	イ	重要文化財等	4	4	4
合 計			173	135	119

# 警 防



# 消防通信系統図



## 無線電話保有状況

アナログ無線				
局別	区別	周波数	出力	本部・署
携帯移動局		防災波 158.35	5W	3基

デジタル無線			
局別	区別	出力	本部・署
基地局		10W	2基
移動局 (車載)		10W	10基
移動局 (携帯)		5W	12基
可搬式移動局		10W	1基

署活波			
携帯移動局	周波数 (MHz)	出力	本部・署
	466.3625	1W	12基

## 有線電話等保有状況

種別	本部・署 (回線)
火災、救急専用電話 (119番)	2
救急医療情報システム	1
119番専用ファクシミリ	1
一般加入電話	3
各課直通加入電話	5
広川町役場専用電話	1
西日本高速道路 (株) 業務用電話	1
携帯電話 (本部用、救急用)	4
タブレット端末	2
衛星電話	1
和歌山県総合防災情報システム	1



# 消防相互応援協定

(令和2年12月31日現在)

	協定名 / 締結年月	協定機関	応援内容
1	日高広域消防事務組合・ 湯浅広川消防組合消防相互応援協定  昭和63年 1月24日	日高広域（事）消防本部	消火・救急・救助業務資器材の援助
2	和歌山県防災ヘリコプター応援協定  平成8年 2月22日	県下の市町村及び消防の一部の事務組合	消防組織法第一条に規定する水火災又は地震等の災害。
3	和歌山県下消防広域相互応援協定  平成8年 3月 1日	県下の市町村及び消防の一部事務組合	大規模な自然災害、大規模火災及び特殊火災、大規模又は特殊な事故、その他応援を必要とする災害。
4	有田市・湯浅広川消防組合・ 有田川町消防相互応援協定  平成18年 4月 1日	有田川町消防本部  有田市消防本部	消火・救急・救助業務
5	阪和自動車道、湯浅御坊道路、関西空港自動車道及び京奈和自動車道消防相互応援協定  平成29年 3月18日	[和歌山県] 和歌山市・岩出市・海南市・有田川町・湯浅町・広川町・日高川町・御坊市・印南町・みなべ町・田辺市  [大阪府] 堺市・和泉市・岸和田市・貝塚市・熊取町・泉佐野市・泉南市・阪南市	消火・救急・救助業務

# 消防水利の現況

(令和2年12月31日現在)

	湯浅町	広川町	合計
公設消火栓	320	244	564
防火水槽	48	34	82
その他	8	3	11
	湯浅、田、山田、田栖川吉川分校、各小学校 湯浅中学校 耐久高等学校 宝栄水泳プール	(私設消火栓3カ所)	

## 主力機関の紹介



タンク車  
車名 日野  
年式 平成29年式  
車両番号 和歌山県800す996  
ポンプ級 A-2



ポンプ車  
車名 トヨタ  
年式 平成19年式  
車両番号 和歌山800さ6341  
ポンプ級 A-2



救助工作車  
車名 日野  
年式 令和元年式  
車両番号 和歌山800す2066



高規格救急車①  
車名 トヨタ  
年式 平成22年式  
車両番号 和歌山830て99



高規格救急車③  
車両 トヨタ  
年式 平成29年式  
車両番号 和歌山830す993



水難救助車  
車名 トヨタ  
年式 平成22年式  
車両番号 和歌山800さ8144



人員搬送車  
車名 ニッサン  
年式 平成20年式  
車両番号 和歌山830さ6319



小型動力ポンプ軽積載車  
車名 スバル  
年式 平成9年式  
車両番号 和歌山80あ1565



軽多目的車  
車名 スズキ  
年式 令和元年式  
車両番号 和歌山880あ2118



広報車  
車名 ニッサン  
年式 平成19年式  
車両番号 和歌山800さ6464



防災指導車  
車名 ニッサン  
年式 平成30年式  
車両番号 和歌山501て2332



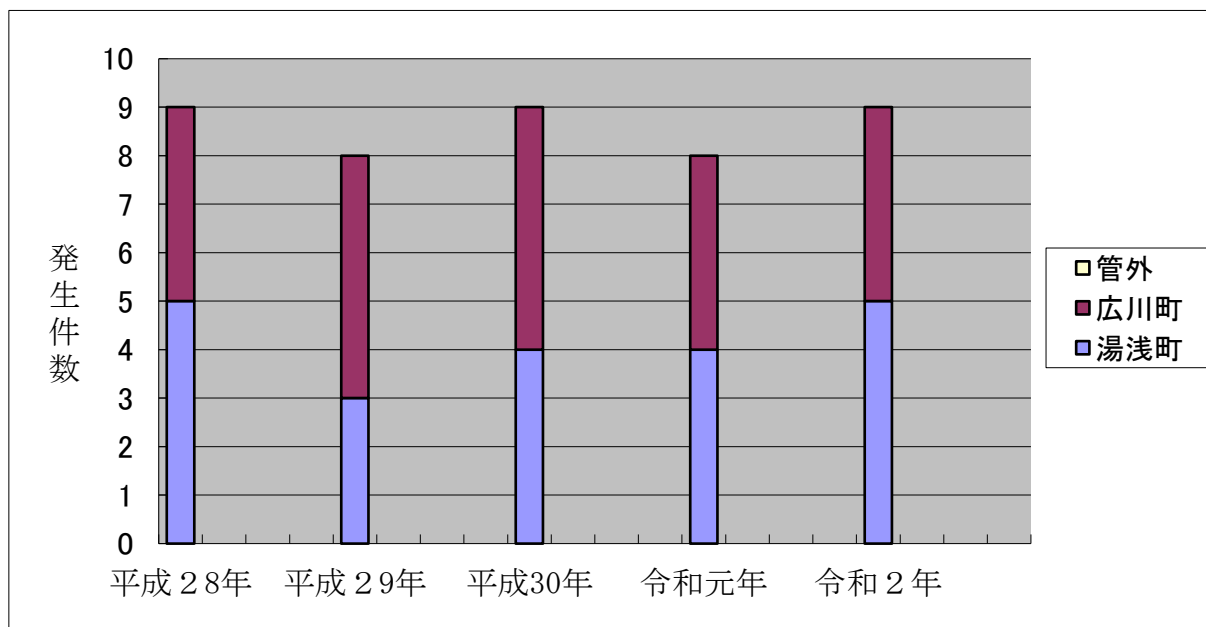
消火・通報訓練指導車  
車名 マツダ  
年式 平成19年式  
車両番号 和歌山100さ7331

# 火 災



火災現場

## 火災発生の推移



町別		年別				
		平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年
湯浅町		5	3	4	4	5
広川町		4	5	5	4	4
管外		0	0	0	0	0
合計		9	8	9	8	9

## 町別火災種別状況

町名	火災種別						合計
	年別	建物	林野	車両	船舶	その他	
湯浅町	平成28年	2		1		2	5
	平成29年	1	1			1	3
	平成30年	1				3	4
	令和元年	4					4
	令和2年	4				1	5
広川町	平成28年	2				2	4
	平成29年	1	1			3	5
	平成30年	4				1	5
	令和元年	2	1			1	4
	令和2年	1		1		2	4

## 火災の概況

年別		令和元年	令和2年	増減	
区分					
火災件数	建物火災	6	5	△ 1	
	林野火災	1	0	△ 1	
	車両火災	0	1	1	
	船舶火災	0	0	0	
	その他火災	1	3	2	
	合計	8	9	1	
損害額（千円）		15,370	576	△ 14,794	
焼損棟数	全焼	0	0	0	
	半焼	3	0	△ 3	
	部分焼	1	1	0	
	ぼや	2	4	2	
	合計	6	5	△ 1	
焼損面積	建物	床面積（㎡）	1067	16	△ 1,051
		表面積（㎡）	0	2.6	2.6
	林野（a）	0	18.03	18.03	
死傷者	死者	2	0	△ 2	
	負傷者	0	0	0	
り災世帯数		4	1	△ 3	
り災人員		11	1	△ 10	

## 火災覚知別表

年別		平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年
覚知別						
火災専用電話119		3	2	2	2	2
一般加入電話				1		
警察通報			1			
事後覚知		1				1
火災専用電話（携帯）		4	5	6	5	6
一般加入電話（携帯）		1			1	
その他						
合計		9	8	9	8	9

## 曜日別火災状況

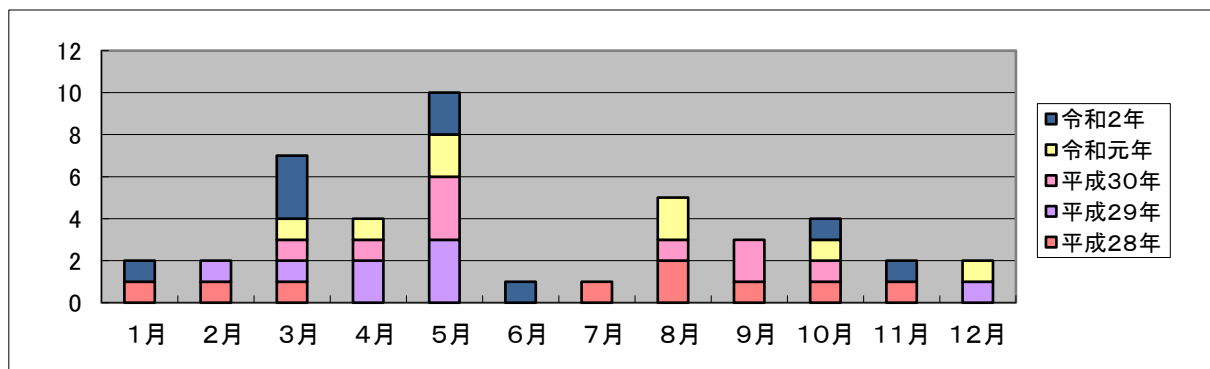
曜日 \ 年別	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年
日	2	2	1	3	
月	1	3	1	3	1
火	1		2		1
水	3	1		1	3
木		1	2		1
金	2	1	2		1
土			1	1	2
不明					
合計	9	8	9	8	9

## 出火時刻別火災状況

時間 \ 年別	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年
0 ~ 1			1		
1 ~ 2					1
2 ~ 3		1			
3 ~ 4					
4 ~ 5		1			
5 ~ 6					
6 ~ 7				1	
7 ~ 8		1			
8 ~ 9			2		
9 ~ 10	1	1	1		1
10 ~ 11				1	1
11 ~ 12	1	1			
12 ~ 13	2				1
13 ~ 14		1		1	
14 ~ 15	1	1	1	1	
15 ~ 16	1		1		
16 ~ 17		1	1		
17 ~ 18			1	2	1
18 ~ 19	1				1
19 ~ 20	1				1
20 ~ 21			1		1
21 ~ 22	1				
22 ~ 23				1	
23 ~ 0				1	
不明					1
合計	9	8	9	8	9

## 月別火災状況

月別 \ 年別	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年
1月	1				1
2月	1	1			
3月	1	1	1	1	3
4月		2	1	1	
5月		3	3	2	2
6月					1
7月	1				
8月	2		1	2	
9月	1		2		
10月	1		1	1	1
11月	1				1
12月		1		1	
合計	9	8	9	8	9



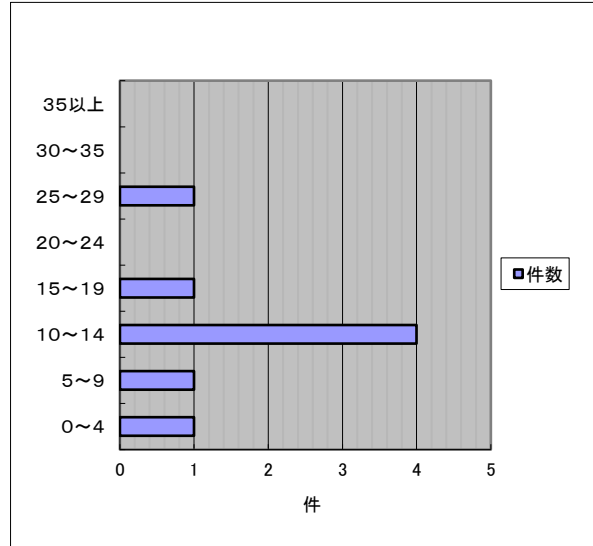
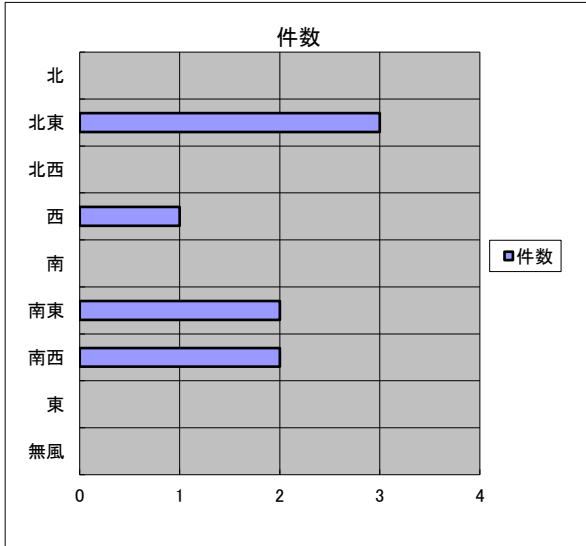
## 出火原因別火災状況

原因 \ 年別	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年
たばこ	2	1	1		
ガスコンロ				1	1
ガスバーナー					
配線器具			1	1	1
火遊び		1	1		1
マッチ・ライター					
たき火	1	4	3	1	1
溶接機・切断機		1	1		
放火	1			1	1
放火の疑い					
飛び火					2
再燃					
その他	4		2		1
不明	1	1		4	1
管外(不明)					
合計	9	8	9	8	9

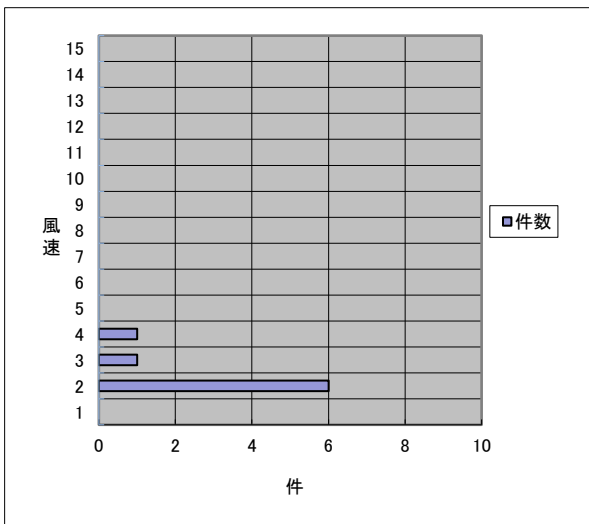
# 気象別火災状況（令和2年中）

（1件については事後聞知覚知により不明）  
気温別件数

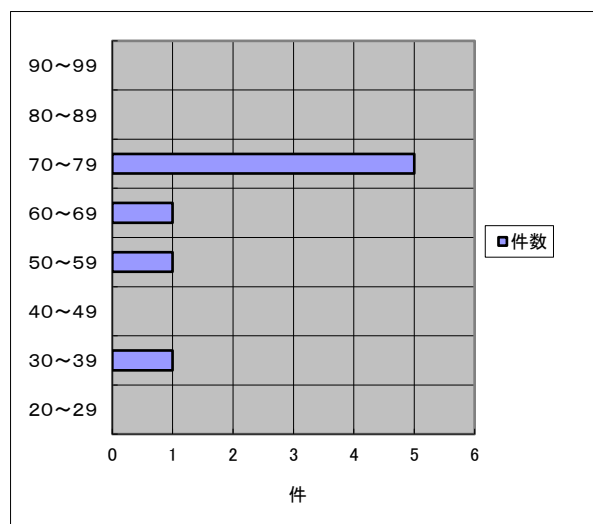
風向別件数



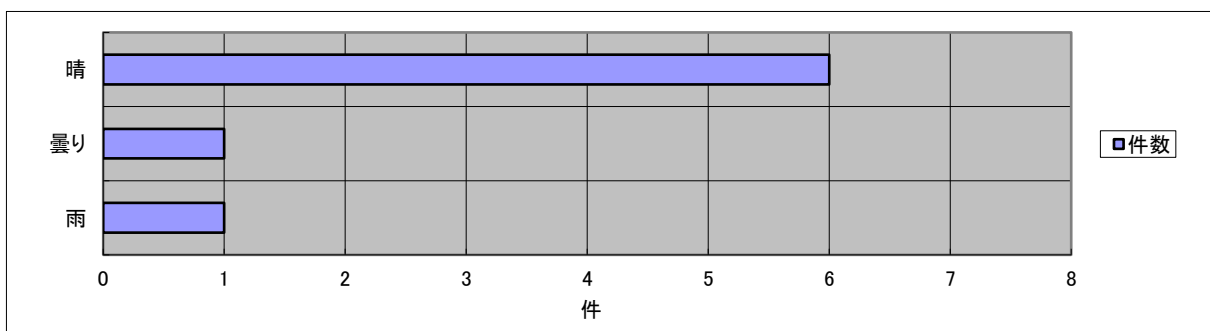
風速別件数



湿度別件数



天気別件数





## その他の出場状況

### 危険排除出場件数

年別	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年
件数	16	9	9	11	4

### 警戒出場件数

年別	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年
件数	28	19	17	18	15

### 蜂の営巣駆除出場件数

年別	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年
件数	23	16	4	6	0















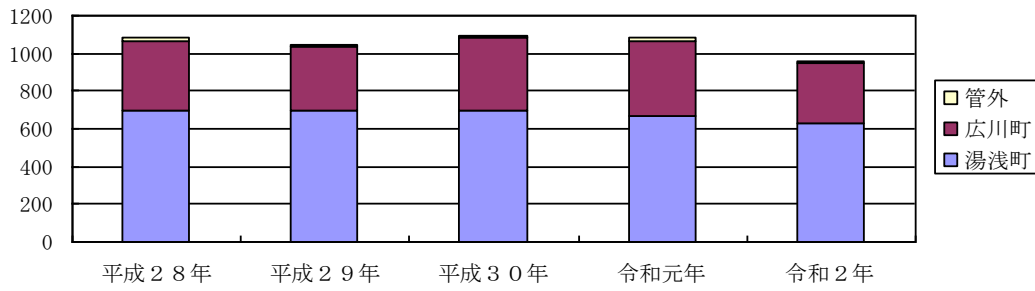


# 救 急



救急の日（啓発活動）

## 救急出場の推移



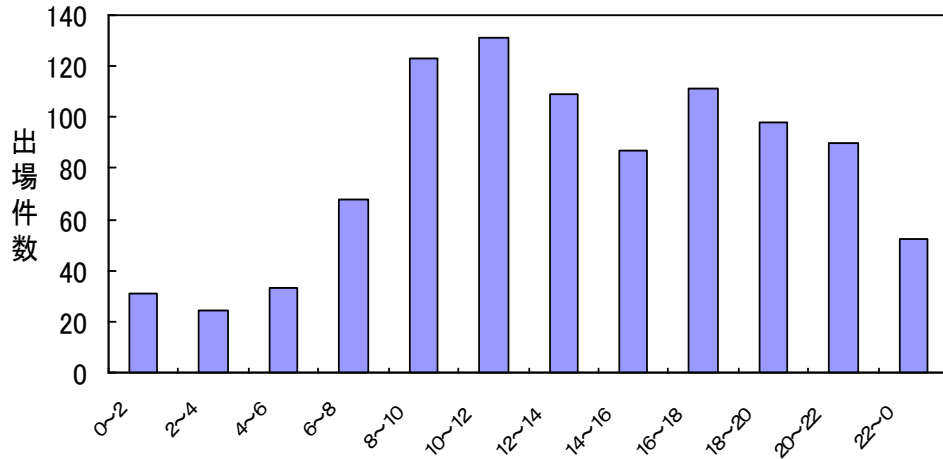
年別		平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年
		町別	湯浅町	700	693	698
	広川町	362	342	385	404	317
管外		22	13	14	14	13
出場件数		1,084	1,048	1,097	1,082	957
(内ドクターヘリ要請)		25	22	25	24	28

## 事故別発生状況

年	区分	計	救急事故種別											内不搬送
			火災	自然災害	水難	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他	
平成28年	出場件数	1,084	0	0	4	96	9	6	161	1	11	692	104	90
	搬送人員	1,003	0	0	2	98	9	5	146	1	8	634	100	
平成29年	出場件数	1,048	1	0	3	89	7	6	145	7	3	678	109	65
	搬送人員	990	1	0	3	86	7	6	130	6	0	647	104	
平成30年	出場件数	1,097	0	3	4	61	11	9	159	3	7	727	113	74
	搬送人員	1,030	0	1	2	59	11	9	152	3	3	684	106	
令和元年	出場件数	1,082	3	1	7	88	8	5	144	0	6	729	91	73
	搬送人員	1,025	2	1	3	95	8	6	137	0	4	681	88	
令和2年	出場件数	957	0	1	2	67	9	7	156	1	4	640	70	65
	搬送人員	897	0	1	1	66	9	7	148	1	3	594	67	

# 時間別出場状況

(令和2年中)



時間別	0 ~ 2	2 ~ 4	4 ~ 6	6 ~ 8	8 ~ 10	10 ~ 12	12 ~ 14	14 ~ 16	16 ~ 18	18 ~ 20	20 ~ 22	22 ~ 0
出場件数	31	24	33	68	123	131	109	87	111	98	90	52

# 高度救命処置件数

		平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年
高度救命処置件数		22	27	33	29	22
内訳	器具による気道確保	12	18	24	21	19
	自動体外式除細動器による除細動	3	4	4	3	2
	乳酸リンゲル液による静脈路確保	11	13	20	13	10
	アドレナリンによる薬剤投与	4	8	6	5	5
	心肺停止前の輸液	4	4	2	2	2
	ブドウ糖溶液投与	3	3	0	4	1

## 程度別搬送状況

年別 程度	平成28年 (人)	平成29年 (人)	平成30年 (人)	令和元年 (人)	令和2年 (人)
死亡	26	30	32	31	25
重症	151	164	155	111	130
中等症	382	376	413	414	362
軽症	444	419	427	469	380
その他	0	1	3	0	0
合計	1,003	990	1,030	1,025	897

## 病院照会件数

年別	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年
件数	398	251	152	181	152

# 救急資器材一覽表

(令和2年12月31日現在)

観察用資器材	患者監視装置	保温搬送用資器材	メインストレッチャー
	体温計各種		スクープストレッチャー
	血圧計		布担架
	聴診器		救助シート
	舌圧子耳鼻電灯		雨おおい
	検眼ライト		毛布
	心電計		オゾンUVエアクリア
	携帯用血中酸素飽和度測定器		シール機
呼吸・循環管理用資器材	ETCO2測定器	感染防止用資器材	手指消毒器
	手動式人工呼吸器		噴霧消毒器
	自動式人工呼吸器		消毒薬各種
	自動式心マッサージ器		感染防御衣
	ポケットマスク		感染防御用手袋各種
	流量計付加湿酸素吸入装置		ゴーグル
	酸素吸入用マスク各種		マスク各種
	酸素ボンベ		アームカバー
	電動式吸引器	シューズカバー	
	手動式吸引器	ストレッチャーカバー	
	吸引用カテーテル各種	訓練用資器材	高度シミュレーター人形
	経口エアウェイ		訓練用人形(成人)
	経鼻エアウェイ		訓練用人形(小児)
	食道閉鎖式エアウェイ各種		訓練用人形(ベビー)
	気管挿管チューブ		気管挿管モデル
	バイトブロック		気道管理モデル
	開口器各種		外傷模型キット
	舌圧子・舌鉗子		AEDトレーナー
	マギール鉗子	その他の資器材	車載用無線機
	喉頭鏡		携帯用無線機
	自動体外式除細動器(二相式)		携帯電話
	輸液セット		分娩用資器材一式
	駆血帯		在宅医療処置セット
	留置針		鉗子・ピンセット各種
血糖測定器	氷嚢		
乳酸リングル液	膿盆・受水盆・汚物入れ		
ブドウ糖溶液	リングカッター		
創傷等保護用資器材	バックボード(ロング、ショート)		万能ハンマー
	バックボード用固定ベルト		バール
	ヘッドイモビライザー		救急バッグ
	陰圧式固定マット各種		懐中電灯
	梯状副子		救命浮環一式
	ネックカラー		防刃チョッキ
	砂嚢		トリアージタッグ
	止血帯	ボイスレコーダー	
	三角巾	タブレット端末	
	救急包帯各種		
	救急タオル各種		
	滅菌ガーゼ		
	滅菌アルミホイル		
	熱傷パッド各種		

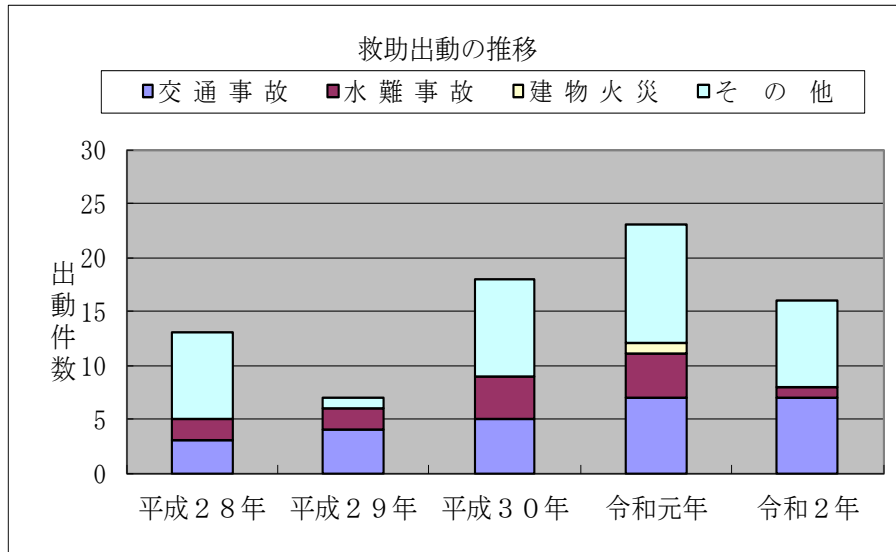


# 救 助



水難救助訓練

## 救助出場の推移



種別 \ 年別	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年
交通事故	3	4	5	7	7
水難事故	2	2	4	4	1
建物火災	0	0	0	1	0
その他	8	1	9	11	8
合計	13	7	18	23	16

## 月別救助出場状況

月別 \ 年別	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年
1月	0	0	0	0	1
2月	1	0	1	1	1
3月	0	0	2	2	3
4月	1	0	1	2	2
5月	1	1	0	5	2
6月	3	0	0	3	0
7月	4	1	2	1	3
8月	1	1	4	2	1
9月	0	0	2	2	0
10月	1	2	2	1	3
11月	0	1	3	0	0
12月	1	1	1	4	0
合計	13	7	18	23	16



# 救助資器材一覽表

(令和2年12月31日現在)

器 材 名		個 数	器 材 名		個 数
一 般 救 助 器 具	かぎ付き梯子	3	呼 吸 隊 員 保 護 用 器 具	空気呼吸器 (陽圧)	26
	三連梯子	3		酸素呼吸器	3
	ワイヤー梯子	1		防塵マスク	6
	救命索発射銃	1		携帯警報器	13
	救命用縛帯	4		安全带	5
	サバイバースリング	2		送排風機	1
	ロープ	一式		耐電手袋	8
	カラビナ	一式		耐電長靴	2
	滑車	一式		防毒マスク	4
	マンホール救助器具	1		安全ベスト	5
重 量 物 排 除 切 断 破 壊 用 器 具	車載ウインチ	2	水 難 山 岳 救 助 用 器 具 そ の 他 の 救 助 用 器 具	救命胴衣	37
	ワイヤーロープ	2		救命浮環	8
	マット型空気ジャッキ一式	1		潜水器具一式	6
	スパカッター	1		水中投光器	2
	大型電動油圧式救助器具一式	1		浮標	4
	エンジンカッター	2		救命ボート・船外機	1
	チェーンソー	2		バスケット型担架	2
	鉄線カッター	2		山岳救助資器材	一式
	エアソー	1		ダイブトランシーバー	2
	万能斧	1		携帯投光器	33
測 定 器 具	ハンマー	1	用 器 具	携帯拡声器	8
	削岩機	1		投光器一式	2
	携帯用コンクリート破壊器具	1		発電機	2
	チルホール	2		応急処置セット	2
	レシプロソー	1		携帯用無線機	25
	オートクリブ	1		バックボード一式	1
	展張計	1		ACライト 4L	5
	可燃性ガス酸素濃度測定器	1		レスキューストレッチャー	1

## 消防年報(令和2年版)

令和3年3月発行

編集・発行

和歌山県有田郡湯浅町大字青木 670番地  
湯浅広川消防組合消防本部

T E L ( 0 7 3 7 ) 6 4 - 0 1 1 9

F A X ( 0 7 3 7 ) 6 3 - 6 6 2 6

<http://yuasahirogawa.sakura.ne.jp/>

E - m a i l : [fd119@juno.ocn.ne.jp](mailto:fd119@juno.ocn.ne.jp)